

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム なごみ苑

作成日: 平成 29 年 10 月 3 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	横長の3ユニット(一部2階建て)の建物であるため、特に夜間、3名という少ない職員で行う27名の利用者の安全な避難誘導を、職員一人ひとりが自信を持って行う事ができるよう、繰り返しの訓練と地域との協力体制を築いていく。	年2回と決めずに、全職員に回るように繰り返し夜間想定訓練を実施し、夜勤時の不安をなくしていく。また、日頃から地域の方に非常時の協力をお願いし、見守りの場所や方法等、具体的な取り決めを行う。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員の増員に努め、会議の活性化を図ること、勉強会等を探り入れ、内容の充実を図っていく。	参加委員として、毎回でなくても、近所の交番の警察官や他事業所の管理者、地域で活躍している有識者に参加をお願いし、グループホームの啓発を行うと同時に、地域密着型事業所として、地域貢献に繋がる運営推進会議の運営を目指していく。	12ヶ月
3	16	同業者との交流を通じた向上	グループホーム協議会や町主催の研修の参加で終わっているため、事業所間の交流を活発に行い、協働して、グループホームの周知に向けた啓発活動に取り組んでいく。	近隣の他事業所と、相互訪問を行ったり、運営推進会議への相互参加をする事で、事業所間の横の繋がりを強化し、共に質の向上を図り、介護相談事業や認知症カフェ、徘徊模擬訓練等に協働して取り組んでいく。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。